

萩原北醫院

下呂市・医療機関

平成25年度
認定

開院当初から事業所内保育施設を設け、2015年4月には地域型保育事業の認可を受ける。地域の未満児も受け入れ、医院併設で、安心してお子さんを預けられる環境を提供する。
従業員数/男性1名 女性33名 計34名 ※平成31年1月1日現在



子育て世代が働きやすい職場環境の整備に力をいれている萩原北醫院。

保育所併設で、安心の職場に

医療・福祉

開院時から職員専用の事業所内保育施設を設置している萩原北醫院。事務長の大林朋子さんは「当初から地域にも開放したいと考えていた」と語り、出産後の子育てに悩む母親が来院したことをきっかけに、対象を地域の未満児まで広げた受け入れもスタートした。

さらに2015年4月から下呂市認可の託児所「ししのこ」、2017年12月から企業主導型保育施設「くろすけ」、併設の病後児保育「みいみい」を開設した。定期利用、一時保育を合わせ30人が保育士12名で受け入れられている。誰もが安心してできる環境で仕事、育児ができ、幸せを感じられる生活を送ることを運営目標としている。

同所に我が子を預けながら、保育士として働く戸谷美紀さんは、「子どもが体調を崩しても、医師や看護師がすぐに見てくれる環境は安心できる」と話す。「子育てをしているスタッフにとっても、保育所は癒しの場。スタッフの妊娠も素直に喜び、みんな育てるという雰囲気がある」と大林さん。

また職員の休みやすさにも気を配り、月に2日の特別休暇を設けるなど、リフレッシュの時間を大切に



地域に開かれた保育施設として母親をサポートしている。

にする。産後の復帰も各自に合った勤務形態で対応。大林さんは「看護師の中には、週1日、1時間の勤務から復帰した人もいる。子どもの成長に応じて、徐々に常勤に戻る仕組みを取り入れている」とし、出産後も職員が仕事を継続しやすい職場環境の構築に注力している姿勢だ。